

7 新屋地域

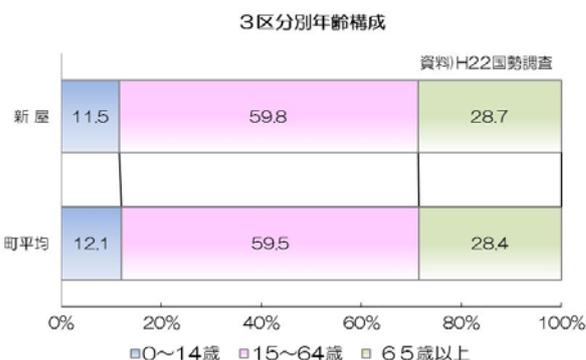
新屋地域は、黒部川や田園などの自然環境が保全され、全体的に散居集落が形成されているとともに、地域の北側に広域的な交通の拠点となる北陸自動車道入善スマート IC があり、その周辺においては、新たな土地利用の誘導が期待される地域です。

人口・世帯数の動向

平成 22 年現在の人口は 2,060 人、世帯数は 554 世帯で、人口は減少傾向、世帯数は概ね横ばいとなっています。

少子・高齢化の傾向

本地域の年少人口(0～14 歳)、生産人口(15～64 歳)、老年人口(65 歳以上)いずれも、町平均とほぼ同水準となっています。



土地利用現況

地域を東西に横断する(主)黒部朝日公園線、(一)大家庄上飯野線等の道路沿道には、住宅等が建ち並ぶ集落が形成されています。また、黒部川扇状地に広がる農地に特徴的な散居集落が形成されています。

地域の北東部には、水力発電所を改修し利用している下山芸術の森(発電所美術館)が立地しています。

地域の中央部には、新屋公民館などの行政・コミュニティ施設、究蓋公園付属農村資料館などの文化施設が集積しています。

小摺戸地域との隣接部には、黒東小学校、こあら保育所が立地しています。

地域全域にわたり、黒部川扇状地の肥沃な土壌を活かした優良農地が広範囲に分布しています。

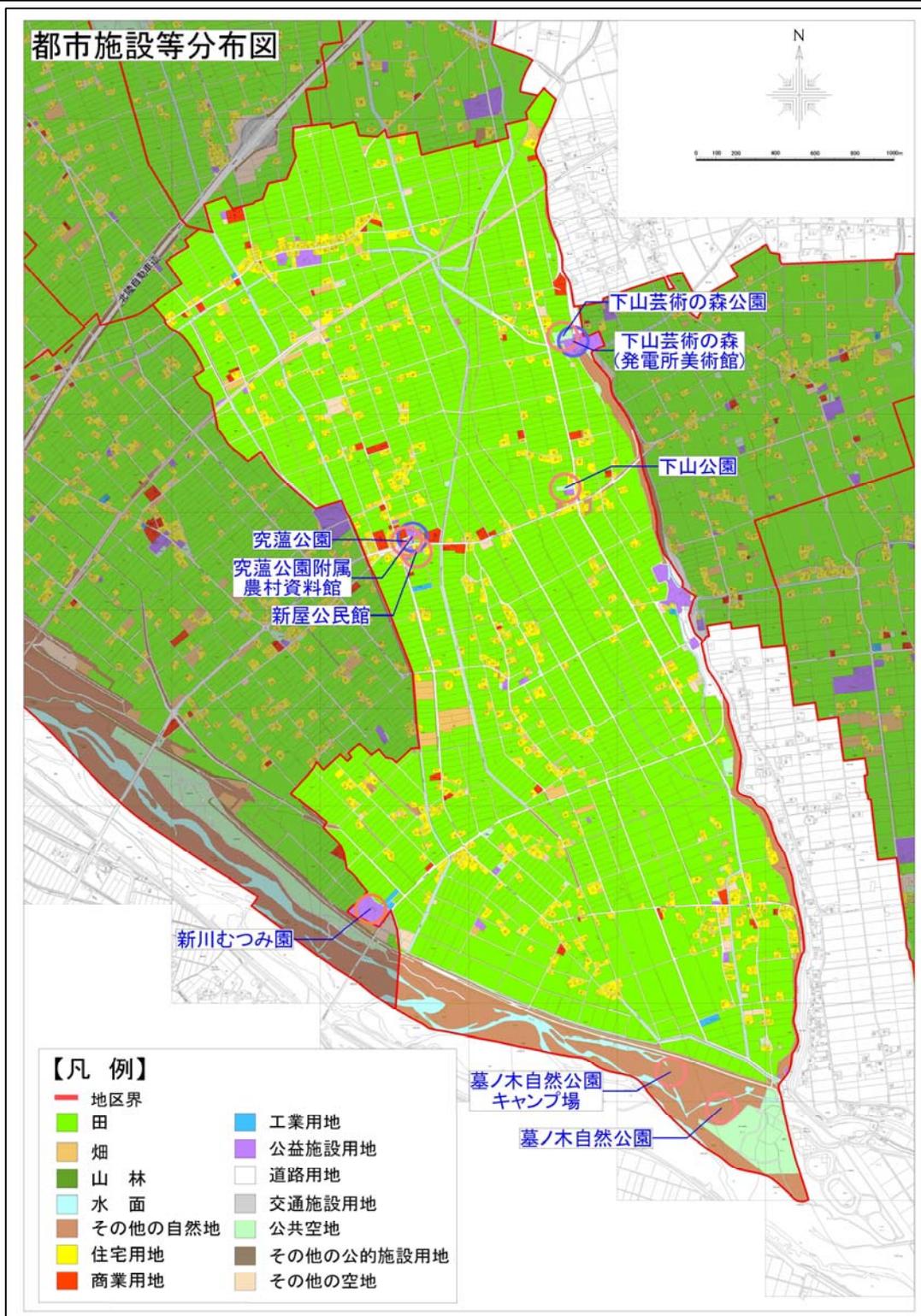
都市基盤整備状況

地域中央を東西に横断する(主)黒部朝日公園線は、東西方向の主要な幹線道路として重要な役割を担っています。その他、北部の(一)大家庄上飯野線、南部の新川広域農道が東西方向の幹線道路として、地域間を連絡する役割を担っています。

(主)入善宇奈月線等が地域を南北に縦断していますが、主要な幹線道路となる(主)黒部朝日公園線など、東西方向の道路とのアクセス性や安全・快適な交通環境が十分に確保されていません。

黒部川右岸には、町内外からの人々の憩いの場となる墓ノ木自然公園、墓ノ木自然公園キャンプ場が整備されており、また、住宅地や集落内には、究蓋公園、下山公園が整備されています。

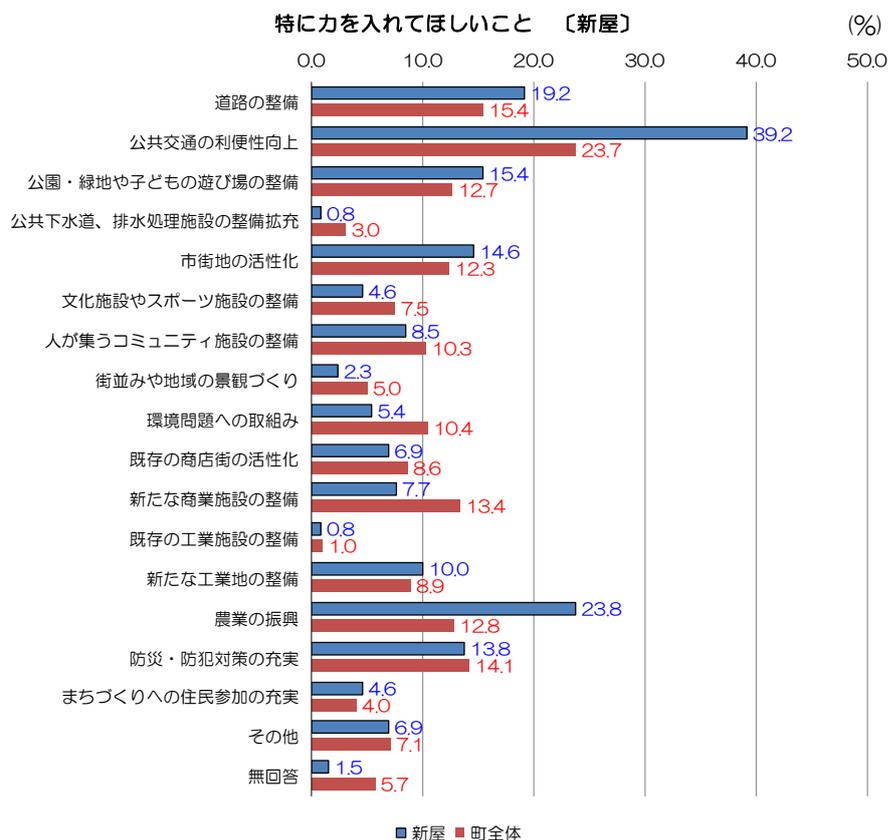
主な都市施設分布状況	
行政・コミュニティ施設	究蘊公園、下山公園、下山芸術の森公園、墓ノ木自然公園等
福祉施設	新川むつみ園
教育施設	
スポーツ・文化施設	究蘊公園附属農村資料館、下山芸術の森(発電所美術館)
その他の施設	



■ アンケート調査結果、まちづくり懇談会の主な意見 (H18～H22)

● アンケート調査結果(地域において特に力を入れてほしいこと)

- ・ 本地域の住民が特に力を入れてほしいと感じていることは「公共交通の利便性向上：39.2% (1位)」、「農業の振興：23.8% (2位)」、「道路の整備：19.2% (3位)」であり、アクセス機能の向上、農業の活性化を求める要望が挙げられています。



● まちづくり懇談会の主な意見 (H18～H22)

(H18.H22)クマ・サル対策を要望
(H18)障害者施設や利用者への支援を要望
(H19)高齢化に伴う地震等の災害への対応ということで、地域主体で行うものとして、高齢者一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯の確認やそのマニュアル化等の徹底を要望
(H21)水田、農道などの陥没箇所が多く出ており、農地保全を図るため、町に修繕費用の助成を要望
(H21)自殺者防止ケアネットの対策
(H22)統合保育所完成後の新屋保育所の有効利用を要望
(H22)現在の屋外防災無線では、一部の地域では聞こえない状況

■まちづくりの課題

（土地利用の課題）

黒部川扇状地に広がる優良農地と調和した散居集落の保全に向け、適正な土地利用を誘導する必要があります。

地域全域にわたり、優良農地が広範囲に分布することから、これらの田園環境の維持、農業の活性化に寄与する施策を検討する必要があります。

北陸自動車道入善スマート IC は、広域交流を担う交通結節点であることから、IC 周辺では、交通利便性を活かした企業の立地誘導を計画的に推進する必要があります。

（都市基盤整備の課題）

地域内の各所から、東西方向の幹線道路である(主)黒部朝日公園線等へのアクセス性の向上を図るため、これらに接続する南北方向の道路機能を強化・充実する必要があります。

（その他の社会環境上の課題）

地域住民の安全性の向上を図るため、土砂災害などに対する住民の防災意識の向上をはじめとした防災対策を推進する必要があります。

■まちづくりの方針【新屋地域】

1. 将来目標

入善スマート IC 周辺における企業集積と 多様な資源の発信拠点の形成

新屋地域は、広域交流の拠点となる北陸自動車道入善スマート IC があり、その交通利便性を活かし、IC 周辺部において計画的に企業集積を推進します。また、これによって、入善町の多様な資源を全国に発信する交流拠点を形成します。

2. 土地利用の方針

(田園と調和した散居集落の維持・向上)

- ・ 優良農地の保全、また、田園の中に点在した特徴的な散居集落の維持・向上を推進するため、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。
- ・ 新屋保育所跡地の活用方法について検討します。



扇状地に広がる農地

(北陸自動車道入善スマート IC 周辺での業務機能の誘導)

- ・ 北陸自動車道入善スマート IC 周辺では、自然環境及び居住環境に配慮しながら、業務機能を中心とした企業誘致等を計画的に推進します。
- ・ 北陸自動車道入善スマート IC の交通の利便性を活かし、農業・水産業等の振興を図るため、第6次産業に結び付く流通・販売を担う企業の立地誘導を推進します。

(農業等の振興に向けた検討)

- ・ 農業等の振興につながる、営農拠点施設及び生産支援施設の立地を検討します。

(下山芸術の森(発電所美術館)等を活かした学習空間の創出)

- ・ 水力発電所をリノベーションして利用した下山芸術の森(発電所美術館)の活用を促進するとともに、周辺の自然環境や下山芸術の森公園を活かし、地域文化を学習できる空間を創出していきます。

3. 都市施設整備の方針

(1) 道路整備の方針

((主)入善宇奈月線の交通利便性の向上)

- ・ 地域を南北方向に縦断する(主)入善宇奈月線は、入善町の中心市街地と北陸自動車道入善スマート IC を連絡する道路であり、今後、北陸自動車道入善スマート IC 周辺での産業・業務活動の円滑化、玄関口としてふさわしい沿道空間の創出など、魅力ある道路整備の在り方を検討します。

(東西方向を連絡する広域幹線道路の維持・整備)

- ・ (主)黒部朝日公園線は、隣接市町への連絡道路であるとともに、北陸自動車道黒部IC及び北陸新幹線新黒部駅(仮称)への連絡道路として重要な路線であるため、整備を促進します。



(主)黒部朝日公園線

(地域住民の日常生活に密着した道路整備)

- ・ 新屋地域の東西方向の主要な幹線道路である(主)黒部朝日公園線にアクセスする南北方向の道路機能の向上・充実を図ります。

(2)公共交通の方針

(町営バスの利便性向上)

- ・ 町営バスは、今後の利用動向を見極めながら、必要に応じ、柔軟に対応することで、地域住民にとってより利便性の高い運行を行います。

(3)公園・緑地の方針

(水と緑が調和した地域特有の公園・緑地の保全・活用)

- ・ 黒部川右岸に位置する墓ノ木自然公園については、豊かな自然環境を保全するとともに、墓ノ木自然公園キャンプ場等のレクリエーション機能などさらなる利便性の向上を図ります。
- ・ 黒部川等の河川緑地は、町の都市骨格を形成する緑地として保全します。



墓ノ木自然公園

(既設公園の維持管理とネットワーク化)

- ・ 下山芸術の森公園、究蘊公園、下山公園など、地域住民の憩いの場となる既設公園は、今後も施設や遊具の適切な維持管理を推進します。
- ・ 墓ノ木自然公園、既設の公園を有機的に連携する水と緑のネットワークの形成を推進します。

4. 環境共生型の都市づくりの方針

(黒部川特有の生態系・環境等の保全)

- ・ 黒部川特有の生態系と環境、水質の保全などを図り、黒部川の自然との共生を推進します。

(入善用水の保全)

- ・ 入善用水については、入善町の豊かな田園空間を創出する基盤として、潤いある水環境の保全を図ります。

(水と緑を活かした良好な都市環境の形成)

- ・ 黒部川右岸の墓ノ木自然公園、舟見野台地ふもとの下山芸術の森公園、住宅地や集落内にある究蘊公園、下山公園などの既設公園の整備・拡充等を図り、緑豊かな都市環境の形成を推進します。

5. 都市景観形成の方針

(黒部川や入善用水の潤いある河川景観の保全)

- ・ 黒部川や入善用水の潤いある河川景観を保全するため、河川周辺の緑化、清掃活動などを推進します。

（黒部川扇状地の特徴的な散居の集落景観の保全）

- ・ 黒部川扇状地に広がる優良農地と調和した特徴的な散居の集落景観を保全するため、無秩序な開発を抑制し、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。



桜並木の景観

（桜並木の景観保全と活用）

- ・ 黒部川の堤防沿いには、春の風物詩となる美しい桜並木が見られることから、今後も黒部川と調和した桜並木の景観保全と活用を図ります。

（北陸自動車道入善スマート IC 周辺の景観創出）

- ・ 広域交流拠点となる北陸自動車道入善スマート IC 周辺は、交流拠点にふさわしい景観創出を図るため、今後の企業の立地誘導にあわせ、建築物や屋外広告物の規制誘導を検討します。

6. 安全・安心な都市づくりの方針

（黒部川等の水害や土砂災害の防止対策の強化）

- ・ 黒部川の洪水及び浸水災害等の防止対策を推進します。
- ・ 舟見野台地及び墓ノ木自然公園付近の急傾斜地土砂災害警戒区域の周知、土砂災害の防止対策の強化を図ります。
- ・ 関係機関との連携強化による災害対策事業の推進や、入善町防災マップ等の周知徹底など、地域住民の災害に対する意識の向上を図ります。

（避難場所の拡充・機能強化と避難路の確保）

- ・ 究蓋公園、下山公園などの公園機能を充実するとともに、避難場所としての機能強化を図ります。
- ・ 災害時に地域住民が避難場所まで安全に避難できるよう、歩車道の分離、段差や狭あい道路の解消、避難経路における建築物・工作物の耐震強化などの適切な措置を推進します。



広がる田園景観

新屋地域 まちづくり方針図



- ・第6次産業における流通・販売を担う企業の立地誘導
- ・業務機能を中心とした企業誘致

入善スマートIC



入善スマート IC 周辺の産業振興

- ・新屋保育所跡地の活用検討
- ・下山芸術の森と周辺の自然を活かした学習空間の創出

- ・営農拠点施設及び生産支援施設の立地検討

- ・優良農地の保全

- ・特徴的な散居集落の維持・向上
- ・散居の集落景観の保全

北陸自動車道

北陸新幹線

(主) 黒部朝日公園線

- ・(主) 黒部朝日公園線のアクセス機能の強化
- ・(主) 黒部朝日公園線などにアクセスする南北方向の道路機能の向上
- ・町営バスの利便性の向上

下山公園

下山芸術の森公園

下山芸術の森(発電所美術館)

下山公園

新川広域農道

- ・黒部川特有の生態系と環境、河川緑地、河川景観の保全

- ・黒部川の洪水に対する防災対策、入善町防災マップの周知

- ・黒部川の堤防沿いにある桜並木の景観保全と活用

凡例

- 農業環境保全地区
- 業務立地誘導地区
- 広域幹線道路
- 主要幹線道路
- バス路線
- 地域界
- 行政界
- 都市計画区域

- ・急傾斜地土砂災害警戒区域の周知
- ・墓ノ木自然公園のさらなる利便性の向上

墓ノ木自然公園キャンプ場

墓ノ木自然公園



特徴的な散居の集落景観



受け継がれる良好な営農環境